



介護福祉施設様向け 映像ソリューションのご紹介



- ① 入居者の転倒を検知するシステム
- ② 夜間の無断外出を抑止するシステム



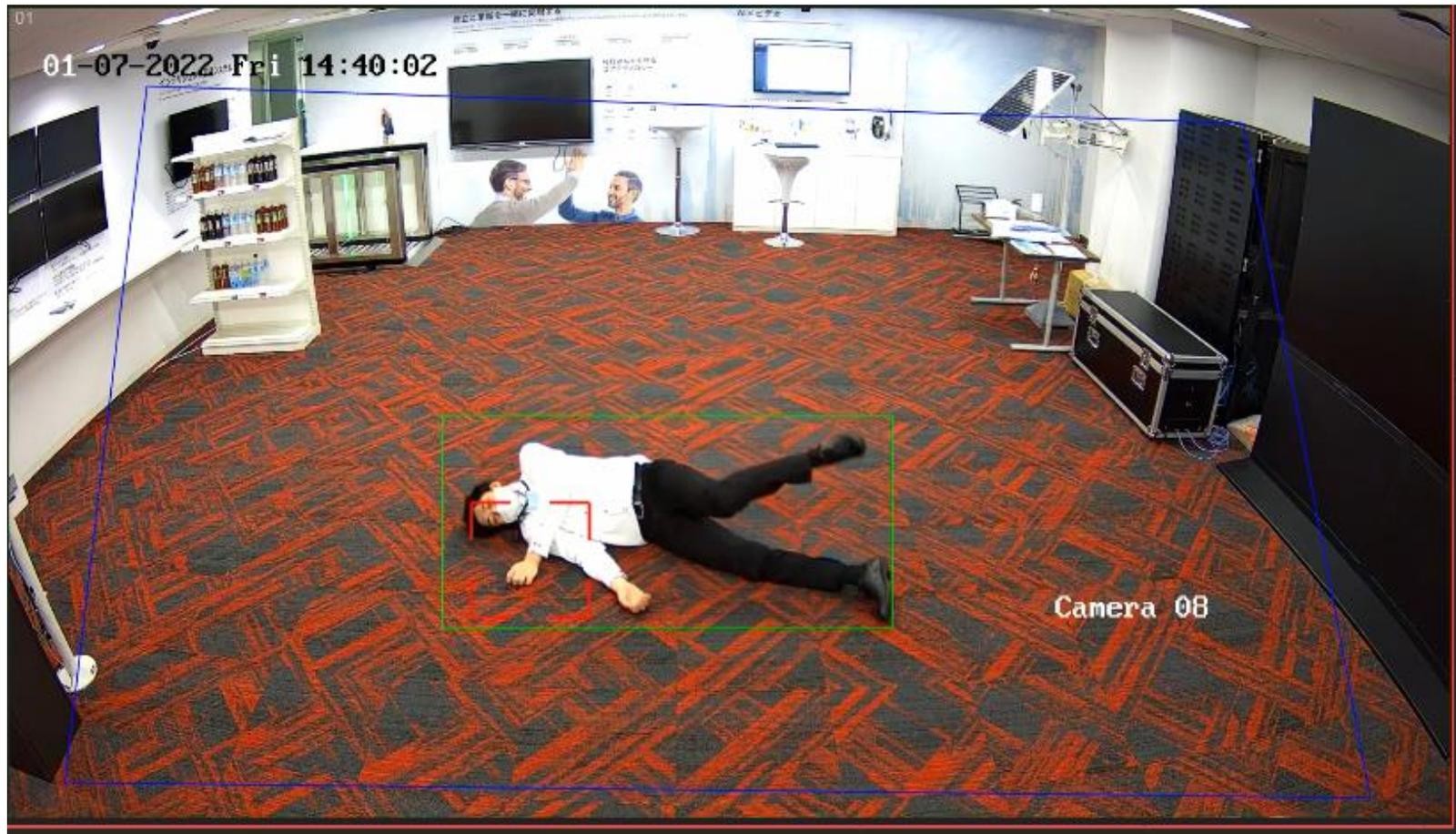
① 転倒を検知するシステム





転倒検知システム

- ▶ 入居者の転倒が発生すると、スタッフへ通知することができます。

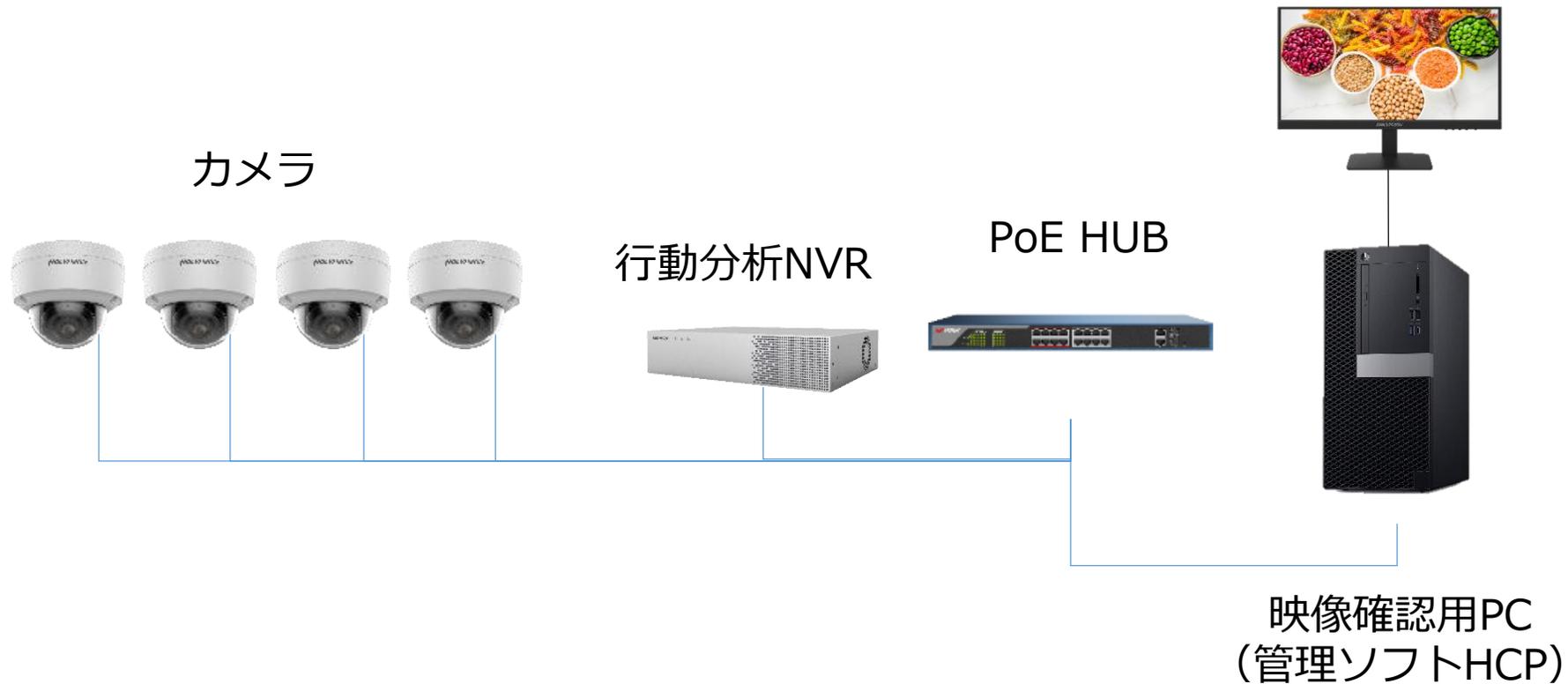




転倒検知システム構成イメージ



- ▶ 転倒検知用のレコーダーはカメラ4台まで録画することができます。





その他のソリューション



▶ 転倒以外にも様々な行動分析ソリューションがございます。

不在



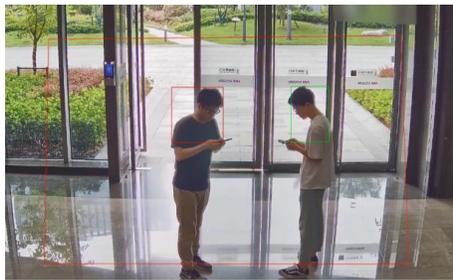
走り検知



人数異常



残留



転倒



激しい動き





転倒検知システム

▶ “ミリ波レーダー”を利用した転倒検知ソリューションもございます。



DS-TDSB00-EKT/POE/4M

周波数	60~64GHz
測定方式	FMCW
検知距離	4 m
データサイクル	70 ms
水平 / 垂直 FoV	-45° ~ 45, -45° ~ 45°
通信モード	WIFI, RJ45
動作電源	Type-C DC5V IEEE 802.3af POE
動作電流	≤700mA
重さ	180 g



広い検知範囲

- 最大検知エリア 10m² (4 x 2.4m)
- 30m² のシングルルームでは2または3台設置を推奨



高い正確性

- かがんだり、座ったり、しゃがんだりしても転倒とは認識せず、高精度な識別を実現



人体への悪影響なし

- ミリ波レーダーを使用し、空中線電力も10dbm以下と弱いため人体への影響はなく、大きさもスマートホンよりも小さい

※日本市場ではマーケティング中の商品です。リリースしていません。

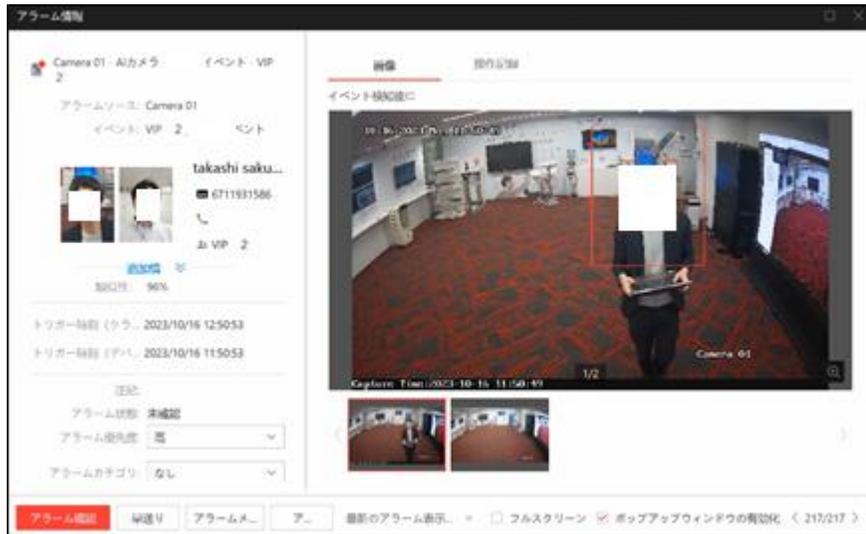
②無断外出を抑止するシステム





居場所の特定

- ▶ 入居者が指定されたエリア外へ移動しようとする際にアラートを発する機能を備えています。
- ▶ マップ上で個人の位置を追跡し、施設内のどこにいるのかを把握できます。



ポップアップ表示によるスタッフへの通知



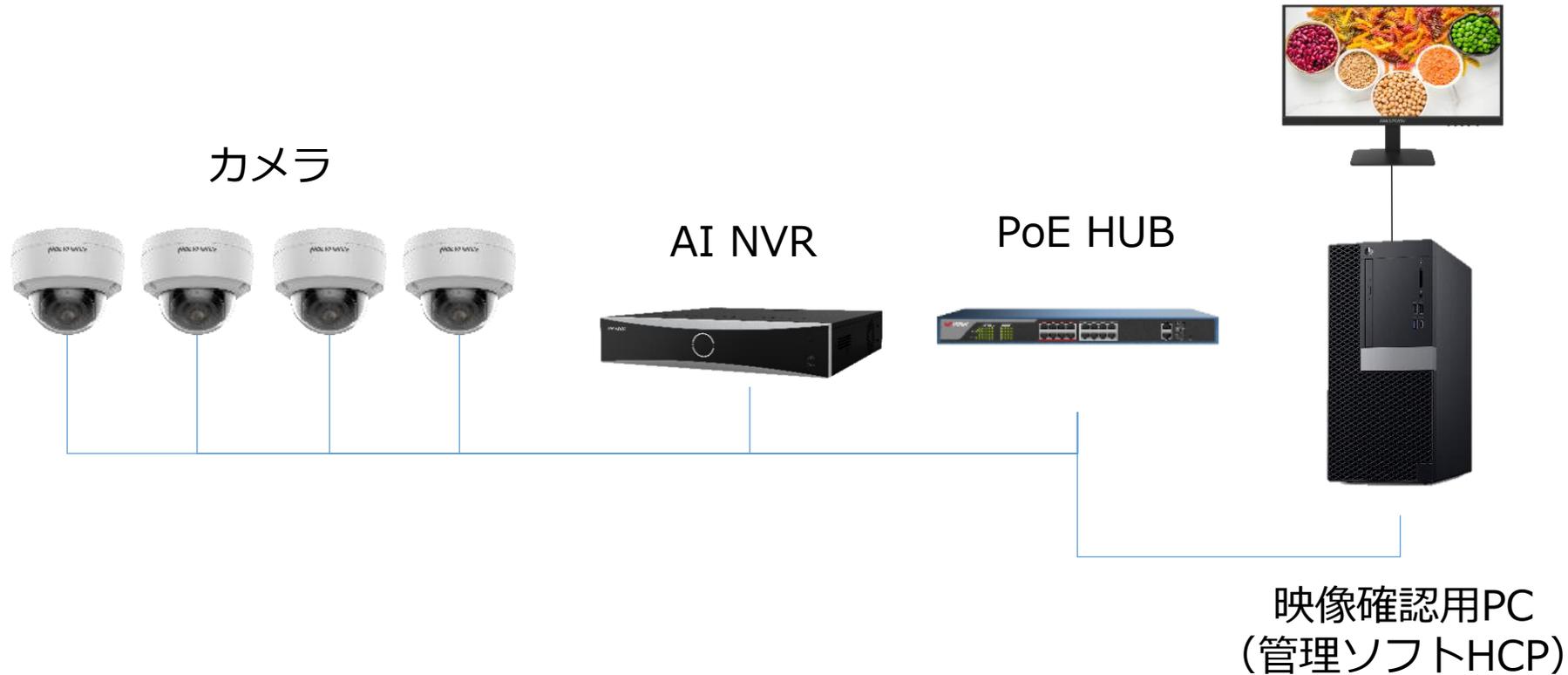
マップによる居場所確認



システム構成イメージ



- ▶ 施設の大きさや出入口の数に応じて、録画装置を選定します。
※一般的にはカメラ8台～16台程度





安全と安心を守ります。

